

# Mizuho Daily Market Report

2023/3/8

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	135.71	137.16	+1.23	+0.99
EUR	1.0688	1.0549	▲0.0132	▲0.0027
AUD	0.6710	0.6584	▲0.0146	▲0.0145
SGD	1.3441	1.3543	+0.0092	+0.0059
CNY	6.9237	6.9662	+0.0344	+0.0306
MYR	4.4735	4.4718	▲0.0065	▲0.0155
THB	34.50	34.56	▲0.14	▲0.79
IDR	15367	15350	+55	+100
PHP	55.01	55.02	+0.16	▲0.32
INR	81.94	81.92	+0.00	▲0.75

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.964%	+0.6 bp	+4.4 bp
日本(10年)	0.504%	▲0.2 bp	▲0.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.692%	▲5.7 bp	+4.1 bp
オーストラリア(5年)	3.450%	▲12.5 bp	▲22.2 bp
シンガポール(5年)	3.305%	▲0.7 bp	▲6.2 bp
中国(5年)	2.685%	▲0.8 bp	▲3.4 bp
マレーシア(5年)	3.682%	+0.1 bp	+3.2 bp
タイ(5年)	2.138%	▲5.9 bp	▲5.9 bp
インドネシア(5年)	6.563%	+4.6 bp	▲3.0 bp
フィリピン(5年)	6.063%	▲4.3 bp	+10.7 bp
インド(5年)	7.389%	+0.0 bp	▲3.9 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,856.46	▲1.7%	+0.6%
N225(日本)	28,309.16	+0.3%	+3.1%
STOXX60(ユーロ圏)	4,278.96	▲0.8%	+1.0%
ASX(オーストラリア)	4,326.07	▲0.2%	+0.5%
FTSTI(シンガポール)	3,245.27	+0.2%	▲0.5%
SSEC(中国)	3,285.10	▲1.1%	+0.2%
KLSE(マレーシア)	1,458.67	+0.4%	+0.3%
SETI(タイ)	1,618.51	+0.7%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	6,766.758	▲0.6%	▲1.1%
PSE(フィリピン)	6,705.12	+0.5%	+2.3%
SENSEX(インド)	60,224.46	+0.0%	+2.1%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	269.58	▲1.5%	▲0.1%
金	1,813.45	▲1.8%	▲0.7%
原油(WTI)	77.58	▲3.6%	+0.7%
銅	8,737.50	▲1.8%	▲2.4%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	137.50	—	139.50
EUR/USD	1.0450	—	1.0610
AUD/USD	0.6300	—	0.7200
USD/SGD	1.3450	—	1.3690
USD/CNY	6.9600	—	7.0200
USD/MYR	4.4800	—	4.5300
USD/THB	34.50	—	35.10
USD/IDR	15300	—	15580
USD/PHP	55.10	—	55.80
USD/INR	81.50	—	83.00

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は、135円台後半でオープン。NY時間にパウエルFRB議長の議会証言を控えていることもあって136円を挟み狭い値幅での推移となり135円台後半で海外時間に渡った。RBAが政策金利を25bp上げと発表したものの市場予想通りだったこともありドル円相場への影響は限られた。

アジア通貨はパウエルFRB議長の議会証言を控えた警戒感から概ね軟調な展開。2月のフィリピンCPIは前年同月比+8.6%と前月の+8.7%から僅かに鈍化(市場予想+8.9%)。CPIが9%を超えれば次回会合で50bpの利上げを行うと中銀総裁が示唆していた中で、次回会合での25bpへの利上げペース減速観測が高まったことがベソ安材料となった。

海外時間のドル円は上昇。NYオープン後、パウエル議長の議会証言原稿が発表され、「必要であれば利上げペース加速の用意」「ピークの金利水準は前の想定よりも高くなる可能性」などタカ派と取れる内容となり、3月のFOMCでの50bpの利上げの市場織り込みも高まる中、136円台後半まで上昇。午後に入り、パウエル議長の「次回FOMCまでの経済指標が重要」との発言が伝わったがドル円の反応は限定的で、終盤に掛けて再びドル買いが継続、137円台前半でクローズした。

## 【金利】

米金利は大きくフラット化。10年債利回りがほぼ横ばいとなったのに対し、2年債の利回りは5%超まで上昇。タカ派なパウエルFRB議長の発言を受けてに売りが強まり、中期ゾーンではその後も金利上昇が続いたが、長期では買い戻しがあり、結果、イールドカーブがフラット化した。

## 【予想】

本日のドル円は引き続き底堅い展開を予想する。昨日の議会証言を経て米金利は上昇、3月FOMCでの50bpの利上げ織り込みも60%ほどまで高まっている。週末に雇用統計も控えている中、やや動きにくい側面もあるが、引き続きドル買い優勢となるだろう。

## 【本日の予定】

(日本) 1月 国際収支:経常収支  
(日本) 1月 景気動向指数(速)  
(日本) 2月 景気ウォッチャー調査 現状判断  
(日本) 2月 銀行貸出動向  
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、10-25y  
(アジア) 2月 インドネシア 消費者信頼感指数  
(欧州) 1月 伊 小売売上高  
(欧州) 1月 独 鉱工業生産  
(欧州) 2月 愛 CPI  
(欧州) 4Q ユーロ圏 GDP(確) / 雇用(確)  
(欧州) 4Q 西 INE住宅価格指数  
(欧州) 独 国債入札(7Y)  
(米国) 1月 JOLT求人  
(米国) 1月 貿易収支  
(米国) 2月 ADP雇用統計  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。